



小1年生たからくん、社会福祉作文で最優秀賞をいただきました！

わつくつ

～明るく かしこく たくましい子ども～

令和7年度
滝沢市立柳沢小中学校
校報 第16号
令和7年12月11日
文責： 小野寺

給食はいつもおいしい。それはなぜ？ ～ ふれあい給食会から～



11月19日（水）に「食育の日」にちなんで、柳沢小中学校多目的ホールを会場に「ふれあい給食会」が開催されました。小学生15名と先生達、給食センターの先生方、岡田副市長様と太田教育長様そして給食に食材を提供していただいている生産者から中村様、高橋様、工藤様、3名の方にお越しいただきました。

小学生に配膳してもらい、会の準備が整いました。岡田副市長様、太田教育長様からの挨拶に続き、栄養教諭の小笠原先生から普段の給食の献立で気を付けてることや目標にしていること等の説明をいただきました。栄養のバランスはもちろん、地元の新鮮な食材を使うこと、時には授業の中身を意識したメニューを取り入れる等、多くのことを考えて献立を作っているそうです。

そしていよいよ食事。当日のメニューは麦ごは

ん、スープカレー、おからハンバーグ、さわやかサラダそしてスイカ大福。生産者のみなさんとお話しながら、給食をいただきました。スープカレーのカボチャ、ショウガ、ニンニク、さわやかサラダのキャベツは滝沢市で生産されたものでした。またスイカ大福は給食センターの皆様が試行錯誤の末に考えた特製のデザートでした。スイカ果汁の香りが心地よく、砂糖の甘味も程よくてとてもおいしかったです。20分ほどして食べ終わって後、児童を代表して保健給食委員長の横田悠希君から感想とお礼を述べて、終わりました。

短い時間の中で生産者の方の思い、給食センターの皆様の努力、こころ遣いを知ることができました。これからもたっぷりの栄養と思いのつまつた給食をみんなで、いただきたいと思います。

ふれあい給食会の感想 6年 横田 悠希

今日のふれあい給食会を通して、いつもおいしく食べていただけた給食が、こんなに多くの方々に支えられていたことに改めて気づくことができました。

自分は6年間給食を食べてきた中で、特に好きなおかずがあります。甘じょっぱいたれのついた肉の「スタミナチキン」と、冷たくてさっぱりしたおいしさのはるさめサラダの2つです。ぼくの好きなおかずができるまでにたくさんの人たちがかかわっていることにびっくりしました。

まず、生産者の皆さん、スタミナチキンの原材料のにわとりを育ててくれていることに感謝しています。これが出ると、猪突猛進のいきおいで食べ進めてしまいます。サラダの材料の野菜を作ってくれている農家の方々にも感謝しています。

次にコンテナで運んでくださる方々、一度にたくさんのが給食を運んでいるのに、丁寧に運んでくださり、とてもうれしいです。

そして給食センターの皆様、栄養満点の給食を色々考えてください、ありがとうございます。毎日、たくさん食べて大きく成長していきます。これからもおいしい給食をよろしくお願ひします。今日は、私達と一緒に会食してください、ありがとうございました。

「障がい」ってなに？



11月28日（金）4時間目、中学校がキャップハンディ（手話）の授業を行いました。手話サークル「忘れな草」から計4名の方々に講師をお願いしてご指導していただきました。

手話を教えていただく前に、リーダー役の浅利様についてご自身から説明していただきました。浅利様は生まれつき、耳が聞こえず、幼いころは身振り手振りだけでコミュニケーションをとっていたそうです。聾学校（当時の名前。今は「聴覚支援学校」といいます。）に入学してから、先輩たちが手話を使っている様子を見て、手話を学び始めたそうです。手話を学びながらいろいろな事物の名前等をおぼえ、徐々に世界が広がっていました。その後、「耳が聞こえないと家の中で困ることは何でしょう。」という問い合わせから、障がいの意味についてみんなで考えた後、実際の手話へ話が進んで行きました。

そして「柳沢中学校」を手話でどのように表すかを教えていただいたのをきっかけに、いくつかの単語やコミュニケーションに取り組みました。

「（話し）言葉を使わずに自分の好きな食べ物を友達に伝えあってみよう。」という課題では1対1でペアを組んで挑戦した後、最後は全体の場で披露して見せました。中学生の皆さんにはそれぞれジ

エスチャーを工夫しながら、一生懸命自分の好きな食べ物を伝えようとしました。そして個性的な表現に時折、笑いが生まれていきました。

今回は耳が聞こえないという不自由さを乗り越えるための方法について学びましたが、講師の先生方からは、「この手話のように障がいがあっても『困ること』をなくせば いろんなことに挑戦できる。」との力強い言葉をいただきました。時はちょうどデフリンピックの期間と重なったこともあり、教室にいた生徒の皆さんそして先生たちのこころに強く響きました。

今年も賞状をいただきました

～ MOA美術館岩手県北児童作品展 ～

本校から多年にわたり標記の作品展に作品を出品しておりましたが、昨年に続き、今年度も本校の児童の作品が下記の通り入賞しました。一生懸命取り組んだ努力と才能をたたえたいと思います。（作品は職員室手前入口付近の壁面に展示しております。）

滝沢市長賞 佐藤 花楠さん

滝沢市教育長賞 新井 想馬くん

お弁当は詰められますね(、たぶん)。



12月3日（水）3・4時間目に、5・6年生が食育推進事業の一環として「お弁当作り」をしました。前半は講師の方から栄養と1日のエネルギーについて学びました。後半は実際におかずをつくり、弁当箱に詰めました。筑前煮は野菜を切り、湯がいて火を通すところから始め、歯ごたえも味もちょうどよく仕上げました。ピーマンの肉詰めはしっかり肉が感じられ、1個でも十分食べ応えのあるおかずになっていました。（実際は一人2個ずつ食べました。）ほうれん草とエノキダケの和え物は出汁がきいており、レタスとトマトのサラダは新鮮でシャキシャキ感が感じられました。

今回詰めたのはおかずだけでしたが、ここまでできれば自分でお弁当まで完成させられると思います。とてもおいしいおかずのオンパレードでしたので忘れないうちに、家でも実際にお弁当を詰めてみてほしいと思いました。